

ときめきの瞬間



泣き虫鬼さん さようなら

2月3日(木)

節分を迎えたこの日、つまぎ保育園では、園児116人が手作りの升を片手に豆まきを行いました。毎年恒例の豆まきには、地元の厄年会「戌亥会」のメンバー16人が参加。うち3人が鬼に扮し登場すると、園児たちは、『鬼は～外』と大きな声を出しながら勢いよく鬼を目掛け、豆を投げ付けていました。



ココロの込もった手作りケーキ

2月11日(金)

妻木公民館で、恒例となった手作りチョコレート教室が開催され、小学1～5年生の21人の女の子が参加しました。子どもたちは、地元の料理研究家の指導を受けながら、ハート形に整えたスポンジ生地に生クリームを詰め、フルーツやチョコチップなどで飾りを付けたオリジナルチョコレートケーキを完成させました。



地域で見守り ありがとう

2月17日(木)

泉西小学校で「感謝の気持ちを伝える会」が開かれました。この会は、地域による日ごろの見守り活動に感謝して行われたもので、子どもたちは、下校時の見守りをしてくれた地元の老人クラブの方と、通学路付近にある「子ども110番の家」の家庭や事業所に、お礼の言葉と花の鉢を贈りました。

表紙の一枚 市内一周をタスキでつなぐ

2月20日(日)

早春の市内を舞台に開催される土岐市一周駅伝大会。第49回を迎えた今年の大会には、市内在住や在勤の方などで編成された5部門、48チームが参加しました。レースは、土岐市駅前をスタートし、ゴールの市役所を目指す8区間、32.8Kmのコースで競われ、ランナーたちは沿道の声援を受けながら、懸命にタスキをつなぎました。(結果を6頁に掲載)

